

5. IPtalk の設定と入力方法

(1) ダウンロードとインストール

IPtalk は、IPtalk のホームページからダウンロードしてインストールを行います。ダウンロードとは、ネットワーク上にあるソフトやファイルを自分のパソコンにコピーすることで、インストールとは、パソコン上でアプリケーションソフトを使える状態にすることです。

ダウンロードした後は、自己解凍形式ファイル「sfx_iptalk9t65.exe」（2017年3月末時点のもの）をダブルクリックするだけで、パソコンにインストールされます。

① デスクトップに「IPtalk」フォルダを作る。

ソフトをダウンロードする前に、保存する場所を決めておきます。デスクトップに IPtalk 専用のフォルダを作っておくと、ファイルが迷子になりません。また、アイコンのショートカットを作ったり、タスクバーやスタート画面にピン止めをしたりしておくと、ソフトの起動がスムーズにできて便利です。

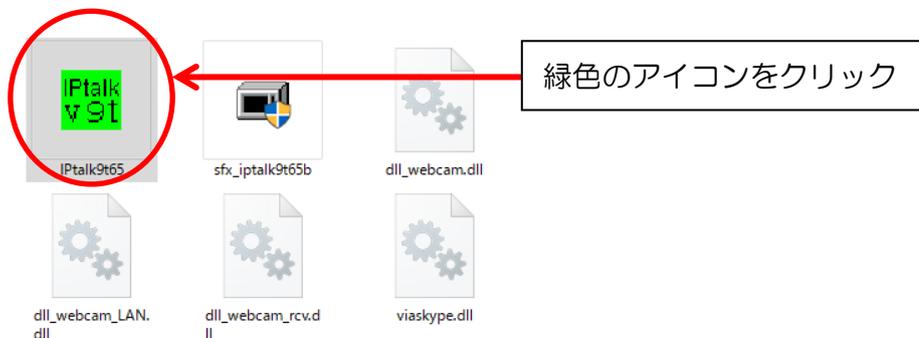
② IPtalk を下記 URL からダウンロードします。

<http://www.s-kurita.net/>



ダウンロードした解凍ソフトを「IPtalk」フォルダに入れ、ダブルクリックします。

③ 解凍するといくつかのファイルが出てきますが、「IPtalk9t65.exe」と名前がついている緑色のアイコンが IPtalk の本体(実行ファイル)です。その緑色のアイコンをダブルクリックすることで IPtalk が起動します。

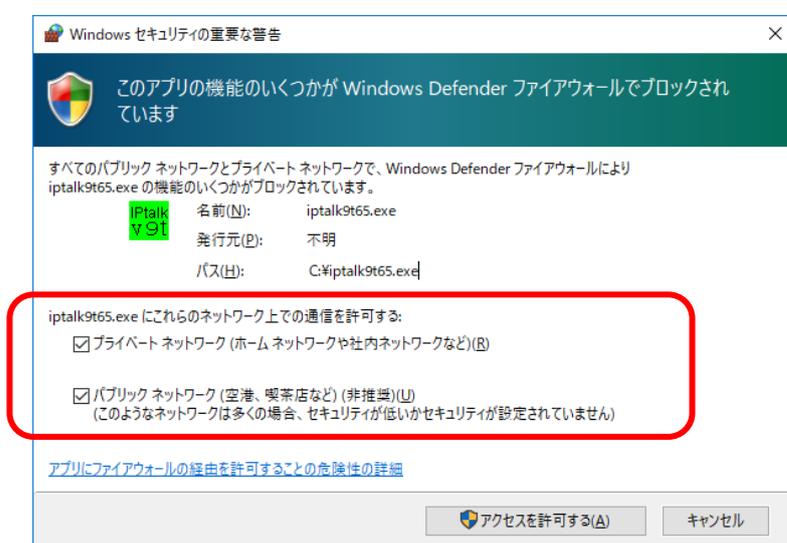


ダウンロードした IPtalk を解凍したフォルダ内
(パソコンの設定によっては、DLL ファイルが見えない場合もあります)



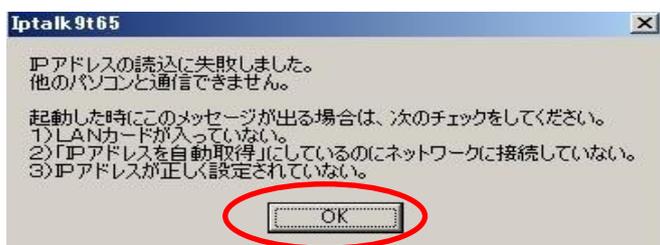
- ④ IPTalk の起動中には左図のように花の写真が出てきます。

- ⑤ 初回は起動時にファイアウォールへの登録ダイアログが表示されます。「プライベートネットワーク」と「パブリックネットワーク」にチェックを入れ、ソフト名を確認してから「アクセスを許可する」をクリックします。このことによって、Windows ファイアウォールにソフトが登録されます。



「Windows セキュリティの重要な警告」画面

- ⑥ LAN に接続する前に IPTalk を起動した場合は、下記のようなダイアログが出てきます。その場合はネットワークが接続されていない可能性があるので「OK」を押して起動させてから接続の確認を行ってください。



ネットワーク接続できていないときに出てくる画面